

奈良県指定文化財調査票

調査日	2020 年	8 月	22 日	記入者	鶴田吉範
調査者名	大谷	垣内	久門	鶴田	

文化財名	樟(クス)の巨樹				
種類	<input type="checkbox"/> 史跡	<input type="checkbox"/> 名勝	<input checked="" type="checkbox"/> 天然記念物	<input type="checkbox"/> 有形民俗文化財	<input type="checkbox"/> その他 ()
指定年月日	1958年(昭和33)3月20日				
所在地	磯城郡田原本町薬王寺514番地				
所有者 管理者	八幡神社				
員数	1株				
時代区分	—				
樹木の場合	(樹木名) 樟(クス)			(樹齢) 約500年	
案内板の状況	あり。汚れや破損はなく綺麗な状態だった。(県教委と薬王寺自治会により2ヶ所)				
公開	自由				
保存状態	<input checked="" type="checkbox"/> 非常に良い	<input type="checkbox"/> 良い	<input type="checkbox"/> 普通	<input type="checkbox"/> 悪い	<input type="checkbox"/> 非常に悪い
	補足 (枝が大きく広がり、勢いがある。)				
当面の課題	八幡神社拝殿の右横に入り口があるが、拝殿裏にある樟を観るための入り口である旨の案内がない。「見学路」等の案内板があれば見学者が躊躇する事なく入り、樟の大きさを堪能する事ができると思う。 樟の根、枝に枯れている所は見当たらず、樹木回りは清掃され保存面など課題はなかった。				
今後の課題	民家の中にあり、車で来た場合には見学者が停める駐車場がないので不便が生じている。駐車場の設置が難しければ、近くにある公民館の駐車場に停められるように案内するのの一法と思われる。				
その他 (由緒など)	県教委の説明板によれば、「目通り周り6.18m、樹高約30m。樹齢約500年余の古木で、約400㎡の八幡神社境内を覆い、一本の木で森を形成しているように見える。樟の巨樹は非常に珍らしく貴重なもの」と書かれている。				
コメント	近隣の民家を訪ね、樟の巨樹の話を聞いたところ、八幡神社は氏子が約300人おり、毎年境内掃除や秋の落ち葉拾いを氏子が行い、地域で大事にされていることが感じられた。八幡神社の宮司は多神社(田原本町多)の宮司が兼ねているとのこと。 県ホームページの県指定文化財一覧及び県教委案内板では、指定年月日は昭和33年3月20日となっているが、県教育委員会設置後の薬王寺自治会(大和磯城ライオンズクラブ寄贈)案内板では、指定年月日が昭和52年5月20日(昭和32年申請)とあり記載間違と思われる。				

奈良県指定文化財調査票(写真)

調査日	2020 年	8 月	22 日	記入者	鶴田吉範
調査者名	大谷	垣内	久門	鶴田	

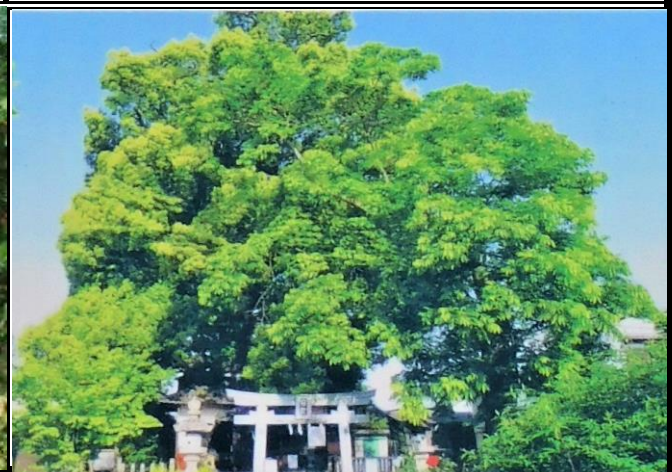
文化財名	樟(クス)の巨樹
------	----------

説明版(県教育委員会)	説明板(薬王寺自治会)
-------------	-------------



天然記念物指定石碑

八幡神社正面から(薬王寺自治会案内板より)



樟の巨樹

拝殿裏への入口

